

# 集いの順序(Order of Worship)

2025 年 5 月 4 日

静まりの祈り (Silent Prayer)

みことばと祈る(Praying with the Word)詩編 16:1—11(Psalm)

賛美 (Song of Prayer) 讃美歌 525 (Hymn)

みことばに聴く マルコ 14:22—26 (Mark)

「感謝」 Thanks giving

祈りと聖餐 (Prayer & The Lord's Table)

捧げ(Offering)

捧げ祈る (Offering Prayer)

讃美(Song of Prayer)頌栄 544(Doxology)

終祷 (Closing Prayer)

## お知らせ(Information)

- \*過日礼拝後お知らせしました、5 月 11 日の総会、また宗教法人上責任役員を新たに一人加える必要(自薦、他薦で教会の了解を得る)を話されました。次週には主の導きで責任役員おひとりが加えられます。祈りに覚えてください。
- \*先週史さんの友人の曲さんが再度来訪し、共に主を礼拝することができました。よみがえりの主の愛に出会われたことを祈り願います。
- \*4 月 28 日沖縄説教塾例会が ZOOM にて実施されました。
- \*2025 年の息吹の題は「いのち」。いのちと対話し 2025 年の投稿を願います。
- \*本日オルブライト兄が共に礼拝されます。良き交わりが与えられますように。

---

先週のみことばからの風の便り イザヤ 7:18—25(Mark)

---

背信の民に神は預言者イザヤを通し語り続ける。警告し、危機を予告し、それにより国土は荒廃し、民は辛苦をなめることになる。未だ起こっていない悲惨を、すでに起こっているかのように語り続ける。この口調が繰り返されるのは、神のことばを頑なに拒否し、自分たちの振る舞いを変えようとしない民が、そこにいるからである。繰り返される警告、危機の迫りの予告は、終わることのない民の反逆のしるしである。その語りがなお続き、特徴だった表現、「その日になると」が用いられる。神が定める日である。神の懲らしめ、裁きが民に下る日である。異邦の力が神の指示により、ユダを裁く日が来る。エジプトとアッシリヤが裁きの道具となり、ユダの地と民を悲劇に貶める。このすべては、民が悔い改め、神に立ち返るための、神の愛の出来事である。

祈り

- \*病の方、医療的ケアにある方、後継者不足に直面し礼拝を続ける諸教会の為。戦禍の地に平和が来ますように。主が世に來られた恵みが世界に浸透しますように。闇に光が放たれた真実がキリスト者を通し希望となりますように、